

初稿なので、台本と実際の場面・効果音・台詞などが異なる点があることご了承ください。

「出会」

〱人の姿をしたクモ女（少女姿）が歩いて近寄ってくる

〱ダウナーというよりは淡々と無感情で、殺す、食うという感じで

.. 右前15 c m

…目覚めたか…。

暴れても無駄よ。

逃げられんぞ。そなたの身体…すでに糸に巻かれておる 我が巢に囚われたのだ…。

.. 正面10 c m

何ゆえこのような廃墟に？

まあよい半月ぶりの獲物だ…たつぷりと可愛がってやらんとな。

〱首筋を舐める

.. 首のあたりで

はむ…れろれろれろれろ…

好みの顔だ。妾は面食いでな…どうせ食らうならば良き顔、若い男のほうが良い…。前に食ろうた40（しじゅう）過ぎの男は今ひとつだったからの…。

〱 右耳もとへ

さあ、どうしてくれよう…。

何か望むことはあるか？命乞いでもしてみるか？

〱自分を殺してくれと男はいう

〱怪訝な顔をするクモ女さん

.. 正面10 c m

…殺して欲しい？

なんだ…妾の噂を聞き自ら供物になりきたと申すか？

…人とはわからぬものよ…。

…だんだん左耳元へ

しかしな…ただ殺すには惜しい。

味を見てからでも遅くはあるまい…

…ここから色気をただよわせる。

…胸元をはだけさせる

自ら喰われに来たというそなたの心意気に免じ死ぬ前に妾の生まれたままの姿見せてやろう

…正面20cm

ん…はあ…

…着物を突き破って、クモの足が生えてくる

…上半身は裸の女性。

四肢から蜘蛛の足が生えておろう…これが真の姿よ。

…男から特に反応がない。 みとれている。

ふむ…。腰を抜かしているというわけではないな…

なんだ…顔を赤くして そなた…

… 自分にみとれていることに気づいたクモさん。  
予想外の反応にどうしていいかわからなくなる

っく…

興冷めだ。

話せ。そなたの抱える悩み聞いてやろうぞ。

／＼ 正面30cm

…ほう、人同士で虐げ合うとな…  
それで、そなたが同胞の贅となっているのか。

流行り病1つで容易く死に絶え、100年と経たず朽ちゆく身の癖  
同胞を虐げ愉悦に浸るとはなんと愚かな…（軽蔑）

しかし解せぬな。

妾に食われるのが最善と考えここへ来たのか？  
他に死にようなどいくらでもあろうものを…。

／＼ 赤らめながら少年は答える

少年「どうせ死ぬなら前にエッチなことがしてみたかったです。

でも、女性にふれるなんて恐れ多くて…蜘蛛女さんだったらいいかなって  
最悪女の子に食われて殺されるなら納得できます」

ほう、ほう…

人間のメスにまぐわりたいと頼むのは気が引けるから色事ができると踏んで…  
最悪 妖者でも「女」であれば食われても本望だと…

／＼ 正面15cm

…というとか？

そなたは人間にははばかりことを、妾にするのば厭わぬと言うのか？

／＼ 少年「いけませんか？」

いけない？

いや…物の怪でも何でも構わぬから、メスと交わりたいというそなたの業に感心していた  
とこよ。

まあ人に劣る不遜な扱いを受けている点は気に入らんが、  
同胞でなければ何をしていても気に入らんという論はわからなくもない。

〱 右前10cm

この姿を見て逃げ出すどころか欲情する所は正直気に入っておる…  
そなた…少々変わり種のようなな。  
その望み叶えてやらんでもないが…。さて…

〱 右耳元へ

はあ〱（色っぽい吐息）  
もう一度聞おう。  
この四肢を見てなお 妖である妾と交わりたいと申すか？

〱 ※重要 ここからだんだん柔らかく、優しい雰囲気へと変貌していきます。

なるほど…ふ〜〜。  
くすぐったいか？  
わかった。その望みかなえてやろう

〱 お母さんみたいに優しく 実はいい人なんじゃないかと思わせるように  
〱 実際は求められて蜘蛛女さんはどきどきと欲情しています。

.. 右前10cm

これ…しがついてくるな…。  
くすぐす…ういやつだ〱

.. だんだん左の耳元へ

「まぐわれる」かもと思うたら目の色を変えて…。  
そんなに妾としたいのか〱？（めちゃくちゃ嬉しい）

そなたには妾がいくつに見える？

24？（にじゅうし）

..だんだん正面15cmへ

くすくす…大外れだ…

その10倍近くは生きておる。

先に「殺してくれ」と申しとおったが…さてそなたの「死に欲」と「性欲」いったいどちらが強いのか…

ここに聞いてみるとするかの…／

／正面 パンツを食い破る

おや…可愛い顔の癖に随分と凶暴そうなのが姿を現したものだ…くすくす。

／触る

さあ…触るぞ…

2.毒液耳舐メ

..だんだん左耳元へ

んっふう…／ そのように体を震わせて…。

お さらに大きくなった…ふふふ…面白いやつめ

食い殺してしまうには惜しいくらいの大物だくふふ

(手コキアドリブ吐息 10秒)

この姿を見てここをこんなに勃せた人間はおらぬ…

／(可愛い子供のように 嬉しそうに)

そんなにしたいか？ 妾と／ んん？

／正面 10cm

面白き男よ…

その身体をたつぷりとなぶってやろう…

〱 だんだん右耳元へ

まずは耳を犯してやる…

〱 耳なめ

〱 舐めたままろれつが回らない感じでセリフお願いします

はーむ。れろれろれろれろれろれろ…じゅるじゅる…あむあむあむ…んっ…〱  
わかるか？

今そなたの身体に毒を流しておるのよ…

じゅるじゅる…はむはむ…れろれろれろれろ…

安心せい…身を滅ぼすような毒ではない。

ん…れろれろれろれろ…あむあむあむ…じゅるじゅる…

行為のさなか何も考えられぬよう、頭の中を綺麗にしてやっておるのだ…

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…

悪い話ではあるまい、そなたのことを虐げた同胞たちのことなど忘れたかろう  
れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…

そなたにとってもこれは初めての経験…互いに気持ちよくまぐわりたかろう…

…くすくす…ありがたく毒に犯されるがいい…

(耳なめ)

ふう…

〱 だんだん左へ

さあ反対の耳からも流し込んでやろう…

はーむ…じゅるじゅる…

ん…れろれろ…れろれろ…くすくす…

頭の中を蕩け(とろけ)よ…現実から開放してやる…

れろれろ…れろれろ…さあ、何もかもわすれるのだ。妾のことだけを想え…〱

（みみなめ）

くすくす、そろそろ毒も回ってきたか…

ほれ、はよう上着を脱げ…そなたの身体を抱かせてくれ…

＝脱ぐ

＝だんだん正面20cmへ

ああなんと色白で か細いことよ…（感嘆）  
腕など力を加えれば簡単にへし折れてしまいそうではないか（好き）

さあ…抱いてくれ…

そなたから…抱いてほしいと言っておるのだ…  
力加減を誤って腕を折ってしまったわぬようにな…。

＝ぎゅっと抱きしめる

＝だんだん右10cmへ

はあ… んっ… はあ…はあ…

どうだ…肌と触れてみた感想は…

＝「温かいです…」

そうか…

＝右耳元へ

妾もぬくいぞ…

半身は人の身体と大差ない…そなたと同じな…。

女は初めてなのだろ…存分に味わうがいいぞ はあゝゝゝ。（首筋に優しく）  
…ふふ…ういやつめ…震えおって…。

はあ…はあ…んっ…ううん…

そなたの胸と妾の胸が触れ合っておるの…

くすくす…柔（やわ）いか？

よかった…

はあ…はあ…んっ…ふう

そそれよう…我が唾液を多量に流し込んでやったのだから…。

…だんだん正面10cmへ

ほれ…何も考えず…柔らかくたわわな胸の感触を味わうがよい…

はあ…はあ…んっ…ふう

ほれ、互いの胸をこすり合わせようぞ…そなたも動いてみる…

…胸、乳首をこすり合わせる

はあ…はあ…はあ…乳首がこすれる… いやらしい…気持ちいいか？ ふふ…

（胸をこすり合わせるアドリブ 妖艶な吐息とたまに嬌声 20秒）

…だんだん左耳元へ

はあ…ん…心地よいな…ふふ…子供のように身体にしがみついて…。うい…そなた…（愛い）

妾の身体でもっとも艶と張りがあり、ぷっくりと膨らんだ胸。

どうだ触ってみたいか？

…がつついていく、焦りが見えるぐらいがいい、

…じれったさがにじみ出てる感じ。吐息まじりで

…だんだん正面15cmへ

後からいくらでも触らせてやる…

それよりも…はよう…（少しいじらしげに 可愛く）

そなたが妾と交わりたいなどと口にしたときから、

身体を求められたときから…うずいておる…



∞ 初夜ノ性交

..右耳元へ

聞こえるか？

淫らな音…

前の足…鼠径部の穴がひくつき愛液が染み出る様に気づいておらぬわけではないであろう

== 吐息が溢れるように

そう…人と全く同じ場所…そこに我のもっとも敏感な部分がある…  
すでに濡れておるのだ…わかるな…。

..だんだん正面10cmへ

ここは相当に食欲でな…もう我慢できぬ…早うしてくれ==

== 挿入

== 超ゆっくりで。やんわり感じる 感じすぎないように  
声は高めなものが少し混じっていると嬉しいです

そ、前から…  
んっ おお…ん… はあ… はあ… んああ。 よい==

== 半分ぐらい挿入された

くふふ…半分といったところか…よいよい。気にせず向かってこい。  
それとも動く果ててしまうか？ んん？ (煽る)

== 腰をふる男 ※対面座位です。蜘蛛女さんの足の上にまたがって、抱きつき上  
から下奥の方へ腰を振ってます

== まだゆっくりと奥へ

ん…ふう…あっ　そう…　これで奥まで入ったな…。

ふふ…ゆっくり腰を動かしてみろ…果てぬよう、そなたの好きなようにな…はあ…はあ。

〓 ゆっくり腰を動かす

ん　はあ　はあ　んっ　んっ　んっ　んっ

くふふ…そう…そうだ　はあ　はあ　はあ

なかなか悪くないではないか。はあ…んん→

はあ　はあ　んっ　んっ　んっ　はあ　はあ…持っているモノが良い…

というより、メスに飢えておるのだな…

んっ　んっ　んっ　んっ…だがその点妾も負けておらぬよ…はあ、はあ…

性行為をするのは久しいからの…

〓 まだゆっくり　余裕を感じられる喘ぎ　笑顔です。

(喘ぎ)

中で糸がそなたのモノに絡みついておるのがわかるか…ねちゃねちゃと、いやらしい音を立てておろう。

はあ、　はあ…はあ…んっ…くふふ…

それはな…狙った獲物を放さぬようにと糸を吐き出しておるのだ…

〓 だんだんと嬌声がうわずって余裕が無くなってくる

んっ　あ　あっ　はあ　んっ　んっ…

本能みたいなものよ…んっ　あっ　出てしまうのだ…気持ち良いと…糸でからめて…くう

…オスを放しとうないと…

んっ　出てしまうのだ〓…糸が…あっ　んっ　それも…このような太くて硬いものを奥に入れられると…あっ　んっ　んっ　食らいたい、食らいたいと！

〓 だんだん喘ぎ声が早く

(喘ぎ)

ああ…身体が震える…はあ、はあ　抱きしめて締め殺してしまわぬようにせんと…あっ

んっ

わらわが加減を誤ればそなたの身などごとく引き裂かれてしまおう…ん んっ あ

あっ んっ んっ

しかしこれはっ んっ あ あ あっ あっ んん そなたっ そなたあっ

死を恐れず、殺してくれと言わんばかり妾の身体を貪ってくるの…やめっ やめてくれいっ

ん あっ あっ

こら やめ やめんか！ あんっ

(喘ぎ)

待て待てというに！！

ああ…ん…ん…ああ…あ…あ…いい…んっ…

…殺しとうない…まだそなたのことっ…んっ んっ ん…

もっとうしたいのだっもっとうと、まぐわっていたい。殺しとうない！殺しとうないっ

っ 声がだんだん高く 可愛くなる

あっ いやっっ やっっ いやっ

これ！ そなたっ 死にきたのではなかったのか！ んっんっ 嘘つきめ！

常人よりよほど精神的ではないかっ！

あっ あん んっ んっ 糸が…んあ…出るっ…はあっ

体液…どろどろ…流れ…んっ はあ…んっ んっ んっ…出る…糸…白いの…出るっ…出るう！！

いやっ いく！ いくっ！

いく！ くる！ああ！くるっ！

あっ んっ んっ…んっ！んっ！んん！！あああああああ

っ いったん休憩

っ 男はまだ射精してません

っ 右耳元へ

はあ、はあ…妾としたことが初めて色事を経験する男に気をやってしまうとは ふふふ…。

そなたが激しく暴れるからだ…。まこと凶暴よな…(うれしそうに)

死を覚悟してここを貫いてくるそなた…なかなか勇ましかったぞ〱

だが…妾の中から出た糸が絡みついて離れなくなってしまった。ふふ  
これでもう絶対に逃げられんの…くすくす…（可愛らしく笑顔で）

――  
♪糸巻き中出シ性交  
――

〱 右耳元

ほれ、妾を満足させてくれた礼だ

もつと唾液を耳に流し込んでやろう…

もつと狂え…憂き世を忘れ 我を求めよ…〱

ん〱ちゅ…れろれろれろ…

頭…とろけろ…きもちよくなれ…はむはむはむ…

れろれろれろ…れろれろれろ…

ほら、そなたも腰を動かさんか…

〱 再び腰を動かし始める

〱 右耳元へ ささやき気味で

ん…あっ…んっ んっ んっ ふふ…待ちわびておったようだな…ううん…

〱 喘ぎながら耳をなめ続ける

じゅるじゅる…んっ あ れろれろれろ…さあ狂え…狂え！

…はぁ…んっ〱

（耳なめしながら喘ぎ 20秒）

きもちい…はぁはぁ…

そなたも快樂に溺れるがいい／

んっ んっ じゆるじゆる…

れおれれおれお…んん…あ ああ よいぞお…ん、ん んっ んん／

…そうだ…妾にぶつけてみよ…受け止めてやろうぞ…

ん…あ あっ じゆるじゆる…れおれおれおれお…

くる…くる…んっ んっ んっ んっ あ あっ あっ あっ

妾の身体が恋しいか？

んっ んっ あ んっ んっ あ んっ はあ…はあ…じゆるじゆる…じゆるじゆる…

はあはあはあ…

妾はな…経験のない男とするのが好きだ…

男に初めての快感をくれてやるのがたまらなく好きである…はあ…はあ／

ん…んっ くっ あっ あっ あっ んっ

同族メスの身体を知らんで…この身体を味わっておるのだろ？ふふ…

もう戻れんぞ…この身体を知れば、他のメスなど…

うっ ぐっ あっ あっ あっ…

何も知らんオスに手ほどきをしてやると、妾のもとへ還ってくる…はあ、はあ…

蜘蛛の巣に囚われた羽虫のように…な…

んっ んっ あ んっ 逃がさん…もう逃がさんぞ… んっ そう…奥まで深く貫いて

…ああ…あ んっ んっくう あっ あっ

ういやつだの…んっ んっ んっ あ ああ／はあ…はあ…じゆるじゆる…れおれおれお  
れおれお

女の姿をしておればなんでも構わん…か…

我の身体を一途に欲して…死も顧みず…。

れろれろれろ…じゆるじゆる…

めごい…はあ〓

んっ あ あっ あっ はあ はあ んっ んっ あん…

求められると、体が疼くというに

かなわんの…う あっ あっ…

(喘ぎ声20秒)

んっ ううん〓 あっ あっ んっ うん〓

はあ、はあ…はあ…

〓 一旦腰をふるのをやめる

蜘蛛の姿…全く不気味ではないのか…〓

人は妾を怯え、異形の姿を嫌ってきた…

200年の時を長き時を生き永らえてきたが…

妾のことを恐怖するどころか、自ら求めてきたのはそなたが初めてよ…

この身体を見て頬を赤くそめたそなたの顔が忘れられん〓

美しいものを見て、みとれているようにしか見えなんだ〓

〓 正面 さらに激しく

…正面から左右＋45度の範囲で自由に動いてください

うっ んっ んっ あっ〓 あっ んっ んっ あん んんっ

(喘ぎ声)

奥に来ておる、ああ〓 いいっ いい！そこいいのだ！

んっ あっ あっ あっ 糸、糸が、んっ んっ 出る、んんんあああ！！

〓 男と蜘蛛女さんに糸が巻き付いていく。糸は蜘蛛女さんの愛液でドロドロ

〓 だんだん女になっている蜘蛛女さん デレていきます

..左耳元へ ささやき気味で

はあ、はあ、すまぬ…繭のように糸で絡まってしまった…  
ふふふ…お互い真っ白だの…

さきほども説明したが、この糸は妾の意志とは関係なく、獲物に絡みつくのだ…  
苦痛はないであろうが体液が混じりべとべだな…

妾の愛液はオスの思考を狂わす… はあ…はあ…くくく…  
さあ、妾をもっと楽しませよ。

〱一旦ゆっくりと

んっ ん…うう あっ はあ〱 はあ…

(喘ぎ声)

種を越えた交わりは滑稽で面白い…っぐ はあ、はあ…

子を成す為ではなく、快楽を求め興じるだけ…んっ んう あっ あっ

(喘ぎ)

しかしな、求められると妾の中の女が悦んでしまう…。

ああ…糸がまたでてくる〱 んん…はあ…いい〱

(喘ぎ声)

かように弱き人の子に 身体を欲せられ嬉しくなるとは…

..正面から左右＋４５度の範囲で自由に動いてください

(喘ぎ声)

んっ あ ああ 糸… 出る…でるっ！〱

(喘ぎ声)

はあ…はあ…妾も、そろそろ限界だっ。

なあ、そなたの熱いものをくれぬか？はあはあ：ほしい  
妾の奥に子種を注げ：許す：女の中で出したくはないか？  
良いだろ？

ん、 ああ！（高い） んっ んっ んっ あっ くる！くるう！  
はあ、はあ：危うく先にいくところだ。んんっ ん んあ あっ  
そなたの堪らえようよ、 妾との交わりを終わらせたら食われると思うておるな？  
ならば食うてやろうか：期待には応えてやらんとな：。

〓 キス…

んちゅ：ちゅ：れろれろれろろ：ほれ、出せ：はう！あっ んっ んっ ん  
出して妾に食われてしまえ！ んんっ あ あっ あっ じゅるじゅるじゅる：  
無駄だ、抜けぬよ：そなたのアレは糸で巻かれ、妾と一体化しておる：  
ほら、妾から動いてやろう：

あっ あっ あんっ んっ んっ んっ ほれ、我慢などするな。早く出して楽になれ！  
妾の中につ はよう んっ あん！ あん！あん！あん！あん！

ああ、いくう〓食われてしまえ！ 妾に食われたいと言え〓  
そなた、死に來たのであろうがっ！ 何を意固地になっておるっ！  
ほら、いくぞ！ いけ！ いけ！ いけ！ そなたのここはもう限界だろう！  
出せ！ 出せっ！ んぐっ はあ はあ んっ んっ んあ！ いくっ！

（絶頂に向かって喘ぎ）

あっ あっ！ いくっ！ いくっ！あっ あっ あああああ〓

はあ、はあ：はあ：はあ：

..左耳元へ

出した：出しおったな：くくく…  
さあ：どうしてくれようか…。



『安息添い寝性交』

.. 左耳元

どうだ、妾とまぐわった感想は？  
何か思い残すことはあるか？

／「おっぱい…胸を触りたい…です…」

ほう…胸に触れたいか…。

…そういえば触らせてやるという約束であったな。  
よからう… 心ゆくまで堪能するがいい…。

その代わり…1つ条件がある。

このまま、まぐわったまま抜くな…よいか…？

妾のこと…抱いたまま…つながったまま…  
よいな？

.. 正面10 c m へ

くすくす…ならよい。

どうせ糸に絡まって抜きようがないがな…

ほれ…絡まっておるが、少しなら緩められる…  
前にくるのだ。

／ 抱きしめる

／ だんだん好きなほうの耳元へ

我が胸に顔を埋めるがよい…。

んっ／＼ふう…ふう…

..だんだん右耳元へ

..※ここからずっとささやきで

..寝かしつけるようにゆっくりお願いします。

胸は柔らかいか？息苦しくないか？

（やんわり吐息10秒）

くすくす…何故息を止めておるのだ…気遣いはせんでいい…

はあ…はあ…ふうふう…

恥ずかしいのか？

妾とてそなたの耳元で息をしておろう ふふふ…すう…すう…

妾の息が気持ちわるいか？

そのようなことはなからう？

な…「許す」と言っている…

しっかりとそなたの吐息を感じさせてくれ…。

はあ…すう…すう…はあ…くすくす…こそばゆい…ふふふ。（幸せそうに）

ああ…ぬくい…そなた…よい匂いがする…すう…すう…すう…恥ずかしがるな…。

汗を舐めていいか？

..首元へ

..首舐め あまり煽情的にならないように

れろれろ…れろれろ…れろれろ…れろれろ…はあ…はあ…しよっぱい。ふふふ…

あむあむあむ…れろれろ…れろれろ…れろれろ…はあ…はあ…

..右耳元へ

（やんわり吐息）

／＼ 膣からいやらしい音がする

…ふふ…くちゅくちゅと音がするな。

気は静まっておるが… 身体はまだそなたを欲しがっておる…／＼

腰は動かしておらぬが、膣の内部ではアレをねぶりまわしている…

ふふ…。最後の一滴まで絞りとろうとな…

／＼ 色っぽい寝息 気持ちいい

んっ…ううん…はぁ…はぁ…ん…ううん…すう…すう…

ほら、安心して出すがいい。

んっ…ううん…はぁ…はぁ…ん…ううん…すう…すう…

出せ…。 よしよし… いい子だ…。 そのまま妾に注げ…。 ふふ…。

ぴゅ… ぴゅ… ぴゅ… ぴゅ… ううん／＼

ああ…ぬくい…奥底がぬくい…／＼

全部出せ… 吐き出せ…。 そなたの欲望…妾に出してみよ…

ううん…すう…すう…。 すう…すう…。

／＼ 耳元にやんわり吐息を 耳かきをするように癒やされるような吐息がいいです  
／＼ ゆっくり、ゆっくり

はぁ…はぁ…はぁ…すう…すう…

あれだけ唾液で頭を犯してやったというのに、そなた…。

耳が赤いぞ…くすくす…。

妾の毒…実はあまり効いておらぬのだろ…？

〱 幸せそうに、眠そうに

隠すな。よいよい。

…まれにおるのよ。そのような人間の…。

あれだけ体液を浴びていたら普通ならとつくに廃人と化しておる。くすくす…

〱 眠そうに ゆっくりと

〱 だんだん正面10cmへ

ふう…ふう…ふう…そなたはまこと面白い…

妾の側にいるに値する…。

〱 男の局部が立ち上がる 嬉しくなって

ううん…〱 はあ…はあ…また大きくなった…ふふ…

…あれだけ激しく交わったのに、まだ足りんのか？

うりうり…ふふ、ん… ふう…ふう…

〱 キス だらしなく、眠そうに

〱 正面至近距離

んちゅ…ちゅるちゅるちゅる…れろれろれろ…。

〱 左耳元へ

あいにくだが、妾の体力であればいくらでも性行為ができてしまう…。

だがこれ以上はそなたの身体が持たぬはずだ…。初めてならなおさらな…。

よしよし…。今は体をやすめよ…

(やんわり吐息・寝息)

喰らう？ くすくす…そんな気 今更毛頭ないわ…。

〱 吐息寝息です

はあ…はあ…はあ…すう…すう…

まあ大半は妾の眼鏡に適わぬから胃袋へと消えゆくが…そなたは別ぞ…。

はあ…はあ…はあ…すう…すう…

なんだ、本気で食われると思っておったか？くすくす…

〱男 複雑そうな顔をする 結局死にたがっている。

ふー…。

〱舌足らずで可愛く

〱意外と幼いと思われる感じを見せてください

…喰われたかったか？

死んで楽になりたかったか？

〱耳なめ

れろれろれろろ…れろれろれろろ…。

そのような顔をするな…〱

ほれ…胸に吸い付きみよ…少しは気が晴れるかもしれぬぞ？

〱あまり喘がない、くすぐったそうな

ん〱… ふふふふ…こしょばい…〱

〱眠そうに ゆったり、ゆっくりと

もっと吸っていい。 すえ…〱

そう… あ… はあ〱はあ〱 よしよし… よしよし…。

(気持ちよさそうな吐息寝息)

くすくす…。女の乳にふれるのも初めてか…いや、母親以来…か。

ふう…ふう…くすくす… よしよし…あれだけ激しく暴れたのだ…疲れもたまろう…  
目を瞑るがいい…。 よしよし…。 存分にしゃぶれ…はあ…はあ…。ういの(愛いの)…。

〱眠そうにゆっくり

そなたが癒やされているように、妾もまた不思議と癒やされておる…。  
乳にうずまる安堵するそなた… 身体の奥底でも繋がりを感じられて…心安らぐ…はあ…  
はあ…すう…

（気持ちよさそうな吐息・寝息）

何故かのう…

死にたがっているそなた… 儂き命を見ていると…。  
ついぞないような優しい気持ちになるのだ…

（気持ちよさそうな吐息・寝息）

すう…すう…すう…くすくす。乳がこそばゆいの…  
ああ… はあ…はあ…はあ…すう…はあ…

そら…。そなたの放った精が 短き命を終えようとしておる…。

くすくす、そんなこともわかるのか？などと…  
逆にそんなこともわからぬのだな…。

すう…すう…すう…そなたはどうなのだ？

／＼眠そうに ろれつが回らない感じで

我が胸の中で息絶えたとしても構わぬのか？  
ここが終わりでも絶望はせぬか？  
同胞たちとわかりあえずとも…よいのか？

／＼乳首を舐め続ける男

くすくす…。問題ないと言いなながら  
しっかり乳房にしゃぶりつきおって。

はあ…はあ…ううん… はあ…はあ…。

はあ…はあ…ふふ…妾はそなたの母ではあるまい？

なぜそうも見ず知らずの妾に身を委ねられるのだ…。(不快ではなく心地よさそうに)

人間ではないから…？

…そうか。。

(気持ちよさそうな吐息寢息)

そう…はあ…はあ…すう…んっ／＼ ううん…

すう…すう…すう…くすくす…その乳首を転がすような舐め方、思わず顔が緩んでしまうぞ ふー。気持ちいい…もつとしろ…。

うーん…ふふふん／＼ ああ…(だらしない声、緩んだ声)  
よしよし…。 よしよし…。

(気持ちよさそうな吐息寢息)

／＼ 正面至近距離へ

何かして欲しいことがあるのか？(優しい声で)  
申してみよ…。

ふむ…もつと耳を舐めてほしいか…。

ただ…そなたの消し去りたい過去を忘れさせてやることはできぬが…  
いや、それは野暮であるな…くすくす(純粹に気持ちよくしてほしいと言われたのがうれしい)

／＼ だんだん右耳へ

さあ存分に奥まで舌を入れてやろうぞ…

／＼ 眠くなりそうにやんわりなめる。自身も眠そうに、やんわり吐息まじりです

はあむ…れろれろれろ…じゅるじゅる…れろれろれろ…。

(耳なめ)

妾の長い舌…しっかりと奥まで入ってくるであろう？

〓ごりごり舐めてください

〓声高くなったり 扇情的に吐息がきつくなりすぎないように注意。寝かしつけトラックです。

んゝれろれろれろ…れろれろれろれろれろれろ…

舐め過ぎ？ふふ…そなたも乳首を舐めてるではないか。助べえが。

しかも腰を小刻みに動かしおって…、体力も精も底をつきておるのに、まだしたりないとは呆れたな…全く…。

ああ…奥にもしっかり当たってる…。大きいまだ…。

(耳なめ やんわり吐息20秒)

くすくす…自ら好んで妾を抱きたいと申す人の子がいるとはの…面白い世になったものよ。

はあ…はあ…はあ…

もっと抱きしめてくれ…乳首…舐めて…吸って…いい〓〓ううん…はあ…はあ…はあ…はあ…ぬくい…。

(耳なめ やんわり吐息)

蕩けさせてやろう…そなたの意識、頭の中…。

そなたの安息を願って…。れろれろ… 忘れる…全部わすれろ…あむあむあむ…。

(耳なめ やんわり吐息20秒)

はあ…はあ…はあ ふふ…〓(胸を舐められて気持ちよさそうに 喘ぎではなく視聴者が寝れるよう、微笑むような感じで)

まーた、大きくしおって…助平が。

はあ…はあ…ううん… ぬくい…ふふ…心地いい

妾の中でどんどん育っていくのがわかる…満ちてく…そなたの愛でな…。

くちゅ…くちゅ…くちゅ…くちゅ…くちゅ…くちゅ… ふふふ…



さあ、どろどろの糸が…そなたのイチモツにさらに巻き付いていくぞ…。  
離すまい、離すまいと、妾の愛がそなたを包んでおる…

ねば…ねば…ねば…ねば…ねば…ねば…ねば…くすくす…。

耳元でこのようにささやかれるのは気持ちいいみたいだな。

(ねば ねば というオノマトペ 30秒 エッチな感じで)

## 〓 左耳元へ

ほれ、反対の耳も虐めてやろう…。

ねば…ねば…ねば…ねば…

ぐーる ぐーる ぐーる ぐーる。

糸の音…愛液で湿った糸…膣のひだがねぶる音…やらしい…やらしいな…。

ねば… ねば…ねば…ねば…ねば…

(ねば ねば ね)

んゝゝれろれろれろ…

(耳なめ やんわり吐息)

じゆるじゆる…れろれろれろれろれろれろ…。ん…〓

お互い敏感な場所のみ舐めあっておるが… 気が昂ぶるのではなく、静まるのを感じる…。  
不思議だな…はあ…はあ…はあ…。こんな経験 初めてかもしれん…。

(耳なめ 20秒)

## 〓 舌足らず かわいい声で

ふふ…のお…乳首を囁んでも乳は出て来ぬぞ…。

それともなんだ。気が静まると言ったのが癪に障ったか？

んっ… ううん〓 はあ…はあ…はあ…

くすくす…しかし言葉を改めるつもりはないぞ…心地よく寝れそうだ…。

おや…さらに強く乳首を囁んで…ふふふ…

そんな態度が可愛い…〓

よしよし… よしよし…。  
幼子を愛でているようだ…

（耳なめ）

よしよし…乳を舐め…忘れるのだ…人の世のこと…辛きこと…  
あゝむ。ふふん…  
れろれろれろ…れろれろれろ…忘れる… 忘れる…。  
さあ 眠るがいい…深く…深く… すう…すう…すう…

（耳なめ）

目を閉じるのだ…

よしよし… よしよし…すう…すう…すう…すう…すう…

（耳なめ）

まだ…起きておるか？

なあ…そなた…妾のものにならぬか？

ふふ…

じっくり考えるがいい…今日はもう、休もうぞ…。

（寝息）